

第 27 回 最先端医療イノベーションセンター 定例セミナー

日 時：2020 年 2 月 5 日（水） 18:00～19:00

場 所：大阪大学大学院医学系研究科附属 最先端医療イノベーションセンター棟 1F マルチメディアホール

演題・講師：

演題：ゲノミクスの病理解剖への応用

講師：前田 大地 先端ゲノム医療学共同研究講座 特任教授

要旨：我々は、病理解剖が全身のがん組織へのアクセスが得られる唯一の機会であることに着目し、屍体血を含む病理解剖検体を対象としたゲノム研究を進めてきた。本講演では、屍体血中遊離 DNA の解析によって得られた知見等を概説し、病理解剖研究の可能性について議論を深めたいと考えている。

演題：先進医療としてのがんゲノムプロファイリング検査と新規がん遺伝子パネルの開発

講師：渡邊 紀信 タカラバイオ株式会社 プロジェクト企画部

要旨：大阪大学、阪大病院、タカラバイオ㈱はゲノム医療の社会実装に向けて連携し、がんゲノムプロファイリング検査を先進医療として実施してきた。タカラバイオ㈱はゲノム解析部分を担っており、本講演では院内完結型クリニカルシーケンス体制構築と先進医療の検査結果を報告する。また、タカラ保有技術を用いた新規解析手法の開発に関しても併せて紹介する。

座 長：前田 大地 先端ゲノム医療学共同研究講座 特任教授

◇最先端医療イノベーションセンター(CoMIT) 研究開発プロジェクトについて (CoMIT HP より抜粋)

<http://www.comit.med.osaka-u.ac.jp/>

【A-14 プロジェクト】

講座：先端ゲノム医療学共同研究講座

共同研究企業：タカラバイオ株式会社

「先端ゲノム医療の開発と臨床実装」

大阪大学とタカラバイオ株式会社との間で平成 29 年 8 月に締結した「ゲノム医療の社会実装に向けた連携推進に関する協定書」に基づき、がんクリニカルシーケンスなどの先端ゲノム医療の開発と臨床実装を目指しています。以下の研究内容を実施しています。

- タカラバイオ保有技術を活用したがん遺伝子パネル検査の開発と臨床評価
- リキッド・クリニカルシーケンスの社会実装のための技術開発
- ゲノム解析結果の臨床評価・キュレーションのためのシステム開発
- 腸内微生物叢解析の疾患バイオマーカー探索のための技術開発
- シングルセル解析の臨床応用のための技術開発